



平成30年5月11日

各位

会社名 明治機械株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中尾 俊哉  
(コード番号 6334 東証第二部)  
問合せ先 経営管理部長 小林 敏敬  
(TEL. 03-5295-3511)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の会社動向を踏まえ、平成29年5月9日に公表いたしました平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の連結決算の通期業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	8,712	727	720	513
今回修正予想(B)	7,153	179	192	411
増減額(B-A)	△1,559	△548	△528	△102
増減率(%)	△17.9%	△75.4%	△73.3%	△19.9%
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	6,583	376	390	349

#### 2. 修正の理由

##### ① 売上高

売上高につきましては、産業機械関連事業において、飼料・製粉業界での設備老朽化更新工事の需要増による案件の増加がある一方、飼料業界再編での大型プラントエンジニアリング案件における逸注や設備規模の見直し等による仕様決定の遅れによる受注時期のずれ、太陽光発電事業において、平成29年9月から取組んでいるメガソーラープロジェクトについて、当社が中心となり取組んだ共同開発企業間での当該プロジェクトの事業主体となるSPC(特別目的会社)組成も含めた基本合意には至っているものの、太陽光発電事業権利等の譲渡先であるSPCの組成時期のずれが生じたため、当初予想を下回る見込みであります。

##### ② 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

損益につきましては、事業全般にわたるコスト削減諸施策に努めるなかで、産業機械関連事業の中小プロジェクト案件や小工事などの予算管理の徹底により収益の大幅な改善が見られましたが、大型工事の売上が当初の見込みから繰り下げになるなどの売上高の減少のほか、将来を見据えた人材投資として採用強化や人材育成を行ったことによる人件費及び教育費の増加、太陽光発電のディベロップ事業において前記メガソーラープロジェクトに係る権利譲渡の時期のずれに加え、売上拡大による支払手数料の増加などにより、これらが販売費及び一般管理費のアップに繋がりました。これらにより、前回公表の通期業績予想に対し営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を下回る見込みであります。

この結果、平成30年3月期の連結業績は、売上高7,153百万円、営業利益179百万円、経常利益192百万円、親会社株主に帰属する当期純利益411百万円を予想しております。

(注)上記の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上